

専攻名	情報アーキテクチャ専攻	必修・選択	必修	単位		学期	秋季
科目群	enPiT2	科目名	ビジネスアプリケーション開発実習		教員名	中鉢 欣秀 永瀬 美穂	
		(英文表記)	Exercises: Business Application Development				

概要	<p>本科目は、平成 28 年度から開始された文部科学省「成長分野を支える情報技術人材の育成拠点の形成」(enPiT : Education Network for Practical Information Technology) のビジネスシステムデザイン分野の学習の一環として、PBL 方式で行われる、学生主導のプロジェクト実習である。</p> <p>リーンスタートアップ手法およびアジャイル開発手法であるスクラムを使って、Web アプリケーション分野の新しい製品やサービスの企画立案から、プロトタイプ開発によるアーキテクチャベースラインの確立、インクリメンタルな機能強化開発、運用・保守までを実践する。チーム単位によるアプリケーション開発を協同で行い、ビジネスアプリケーション開発の実践力を修得する。</p> <p>詳細については、別途配布する「enPiT 分散 PBL プロジェクト説明書」を参照のこと。</p>		
目的・狙い	<p>スクラムを理解し、モダンな Web アプリケーション開発のための基盤を活用して、価値の高いソフトウェア開発をチームワークで行うことを目的とする。受講者はこの PBL を通じて Web アプリケーションを作成し、成果報告会で発表する。</p> <p>修得できるコンピテンシー:</p> <p>(B1) コミュニケーション力 (レベル4) システム提案・ネゴシエーション・説得、ドキュメンテーション (B2) 継続的学修と研究の能力 (レベル4) 革新的概念・発想、ニーズ・社会的・マーケット的視点、問題解決 (B3) チーム活動 (レベル4) リーダーシップ・マネジメント、ファシリテーション・調整</p>		
前提知識 (履修条件)	<p>チームワークによるソフトウェア開発に対する熱意や、より良いプロジェクトマネジメント手法に対する期待がある人を特に歓迎する。</p>		
到達目標	上位到達目標		
	「enPiT PBL プロジェクト説明書」を参照		
	最低到達目標		
	「enPiT PBL プロジェクト説明書」を参照		
授業の形態	「enPiT PBL プロジェクト説明書」を参照		
授業外の学習	<p>原則としてコアタイムに出席すること。コアタイムの実施場所・時間・方法については、別途連絡する。時間外においては、チーム活動のために必要な知識の事前学習や、メンバーに分担された活動中の課題の調査などを行う。</p>		
成績評価	<p>成績評価方法の詳細については、プロジェクトごとに定める「enPiT PBL プロジェクト説明書」を参照のこと。</p>		
教科書・教材	「enPiT PBL プロジェクト説明書」を参照		
参考図書	「enPiT PBL プロジェクト説明書」を参照		
獲得可能なコンピテンシー		獲得可能度合 (◎ ○ △ -)	獲得可能な内容
メ タ	コミュニケーション能力	◎	
	継続的学修と研究の能力	◎	
	チーム活動	◎	
コ ア	システム提案・ネゴシエーション・説得	◎	
	ドキュメンテーション	◎	
	革新的概念・発想	◎	
	ニーズ・社会的・マーケット的視点	◎	
	問題解決	◎	
	リーダーシップ・マネジメント	◎	
	ファシリテーション・調整	◎	